



ようこそ保育合研in兵庫

木下孝司（開催地実行委員長・神戸大学）

第58回合研にご参加いただきまして、ありがとうございます。はじめに、このたびの熊本での地震により被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

兵庫での開催は、阪神淡路大震災から6年後の2001年、そして2012年を経て、3回目となります。この25年、あるいは15年で、子どもとその家族、そして保育を取り巻く状況は大きく変わりました。人間のあらゆる営みをお金に置き換えるシステムが社会に浸透し、じっくりゆったりと子どもの育ちに共感する余裕がなくなってくるように感じます。さらに、新型コロナ禍によって、人々のつながりを断ち切る流れも強まり、今も対話の減った状況は続いています。

そんな情勢に抗して、保育にかかわる全国の仲間によって、合研での学びと交流は継続しています。本当にすごいことだと思います。「合研に参加すると、元気をもらえるんです」という声をよくうかがいます。私もその一人です。熱い思いをもった方々が、全国や兵庫県内から多数集われ、とことん語り合う姿を想像して、ワクワクしています！

猛暑、酷暑はまだまだ続きそうです、皆さんにおかれては、どうぞ体調管理に気をつけてご参加ください。



兵庫に集い、保育と平和について語り合いましょう

長瀬美子（全国実行委員長）

みなさん、兵庫ようこそ。

合研は、すべての子どもたちが、心から安心して過ごし、豊かに育ち合えることをめざして、全国から多くの保育者が集い、58回を重ねてきました。

今回は、1995年に阪神淡路大震災を経験した兵庫での開催です。そして神戸には「非核神戸方式」があります。震災後の混乱の中でも、可能な中で保育を再開し、子どもと

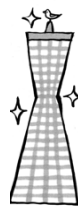
保護者に寄り添ってきた経験、核兵器を積んだ船を神戸港に入港させなかった歴史が兵庫にはあります。

そんな経験と思いが、兵庫集会のテーマ「すべての子どもたちに 生きるよろこびを

つなごう 平和の種をまくために」に込められています。「保育園という小さな社会は、平和の種が育つ豊かな土壌を毎日耕すことができる場である」ことが基調報告にもうたわれ、記念講演でも「私たちに戦争をとめる力はあるのか」が問いかけられています。

重くて大切なテーマにとりくみながらも、兵庫の実行委員会は、とても元気でフレンドリーです。実行委員会では、和やかな中にも合研への熱い思いが語られていました。実行委員会の熱い思いを受け、みんなで保育と平和について語り合いましょう。

すべての子どもたちに 生きるよろこびを つなごう 平和の種をまくために



いよいよ
合研はじまるよ～
ぼくは開催地マスコット
「ひょー坊」です！
兵庫県の形をした帽子、
鼻は淡路島なんだよ
よろしくね♪



総合司会のお二人
保護者と
保育士の
コンビです！



兵庫合研オープニング♪

とどけ！平和のうたごえ



県下25施設、
349人の
年長組さんが、
心をこめて歌います。

ちいなかソング♪

兵庫オリジナルを作りました♪
一緒にうたってね

しらないこと いっぱい
ききたいこと いっぱい
みんなおなじ なやんで
ひとりじゃないよ
じかんにおわれ しんどい
なきたいことあるけど
すてきななかまで つなごう
ひとりじゃないよ
しっぱいしても だいじょうぶ
あせらなくても だいじょうぶ
ちいさいなかま あけるとね
ちからがわいて げんきになる
こどもたちのえがおが
みえるようになるとね
きつとこどもがすきに
みんながすきになる
こどもたちのみらいを
こどもたちのえがおを
すてきななかまたちと
みんなでまもりたい
ララララーラ ララララ
ララララーラ ララララ
ララララーラ ララララ
ちいさいなかま
ちいさいー なーかーまー
ヤー！！



開催地企画♪

劇団員の声



最初はすごい不安やったんですけど、皆さんと意見を出し合って、気持ちも乗ってきて、知らなかったことに対して取り組むってことはすごい勉強になったと感じてます。頑張ります！

本当に練習を重ねるごとに
どんどんいいものになっていく
ので、このまま本番まで進んで
いけたらなって
思います！！

困ったことがあったら
イエローTシャツを
着ている人に聞いてね。



オリジナル
グッズ！
数量限定！
Tシャツ、タオル
ボールペン

